

南病棟5階 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 摂食嚥下診療センター、共通



耳鼻咽喉科看護とは



私達の体は様々な刺激を受けており、その刺激に対応する器官が目・耳・鼻・舌・皮膚などでこれらは耳鼻咽喉科領域である顔面や頭部に集中しています。耳・鼻・のどに対する手術や化学放射線療法によって「聞こえない・話せない・食べられない」等の機能障害が起こることがあります。これらの感覚器官が障害されることは人間の日常生活に大きく影響を及ぼします。



これらの機能障害に対し、症状緩和やリハビリテーション、生活指導など患者さん個々の状況に合わせた看護を実践しています！





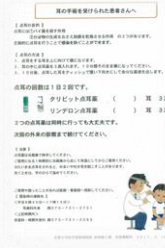
耳の看護



耳の手術は主に人工内耳埋め込み術や鼓室形成術があります。
耳の聞こえない患者さんが安心して入院生活が送れるように筆談で病棟案内をしたり、
様々なコミュニケーションツールの作成をしています。



筆談や文字盤、
非言語的
コミュニケーション
を駆使しています



医師の指示により
点耳指導を
実施しています



鼻の看護



鼻の手術は副鼻腔炎や腫瘍など症状により多岐にわたります。
鼻は目や脳が近い為、術式や腫瘍の場所によっては形成外科や脳外科と協力し、高度で
特殊な手術を行うこともあります。例えば、鼻の腫瘍を切除し代わりに太ももから筋肉や
脂肪をとり鼻の形を整える「再建術」という手術をすることもあります。その場合嗅覚は
なくなるため、食事などの工夫が必要です。

洗浄と保湿



感染予防、乾燥予防の
ために、鼻洗浄を実施
します。
パンフレットを使い
指導をしています。



出血時対応



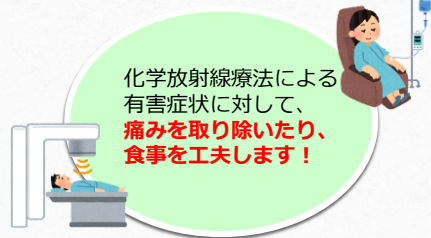
特に術後の出血は
動脈性が静脈性かを
見極め、
医師と連携し対応が
必要です。



のど(咽喉頭)の看護



のど(咽喉頭)の手術は、主に上中下咽頭・喉頭にできた腫瘍に対して行います。特に咽頭の手術は内視鏡で出来るものから腸を使って再建するものまであり多岐に渡ります。また化学放射線療法を行う方も多いです。放射線療法では口や咽頭の粘膜炎ができやすくそれによる疼痛や、飲み込む力が弱くなることで食事ができなくなっていくます。



化学放射線療法による有害症状に対して、**痛みを取り除いたり、食事を工夫します！**

喉頭摘出後は**頸に呼吸するための穴があいた状態**となります(永久気切孔)。手術後のイメージがしやすいよう「喉頭全摘術を受けられる患者さんへ」というパンフレットを用いて、入院から手術、手術から退院までの流れをわかりやすく説明します。また、**患者さんが安心して自宅退院できるように必要な手技指導や物品調整、在宅サービスの調整を多職種で実施します。**



これが永久気切孔です。水が入らないように注意したり、痰を吸引したりします。

※写真使用許可を得ています



嚥下看護



当病棟の患者さんはさまざまな治療の影響で食事が困難になります。そのため栄養状態が悪化しないように、**医師・看護師・管理栄養士・言語療法士・薬剤師などの多職種により**、患者さんの嚥下状態に適した食事の提供をしています。治療や疼痛に対するストレスもありますが、治療が進むにつれ食事を摂れない事へのストレスも高まるため、食事の工夫や疼痛コントロールはもちろん、精神的なケアも実施しています。当病棟には摂食嚥下障害看護認定看護師が在籍しており、患者さんや病棟看護師とともに困っている事などについて速やかに相談し対応しています。



チームで取り組む食事援助!

患者さんが苦痛なく安全に食事ができることを1番の目標にしています。NSSTという多職種チームで患者さんの食事をサポートします!

摂食・嚥下障害看護認定看護師





南病棟 5階の新人教育



今年度は**3人の新人看護師**が入職しました。

コロナ禍もあり満足に実習ができない中、入職しました。不安を抱えながらも日々一生懸命頑張って様々な知識や技術を習得してくれています。1人1人の個性や能力に合わせて病棟全体でサポートし、院内新人教育も充実しています。

また、病棟には経験豊富な先輩看護師や優しい先生方がおられます。スタッフ一丸となって日々患者中心の医療体制を整えられるよう、頑張っています。



クリニカルコーチ(CC)



今年度は女性のCCです。一人ひとりとの対話を大事にする優しい色白美人看護師です。

先輩看護師からのメッセージ

手術と化学放射線治療等を選び、看護を実践することが出来ます。初めての環境の中わからないことも多く、患者さんとの関わりの難しさに直面し悩むことも多いですが、丁寧に指導してくださる先輩のもと少しずつ成長できていると感じています。

Aさん

未来のあなた！

私たち2年目の看護師が、緊張いっぱい新人さんを精神的にサポートします！慣れない環境で不安も多いと思いますが、いつでも頼ってくださいね。

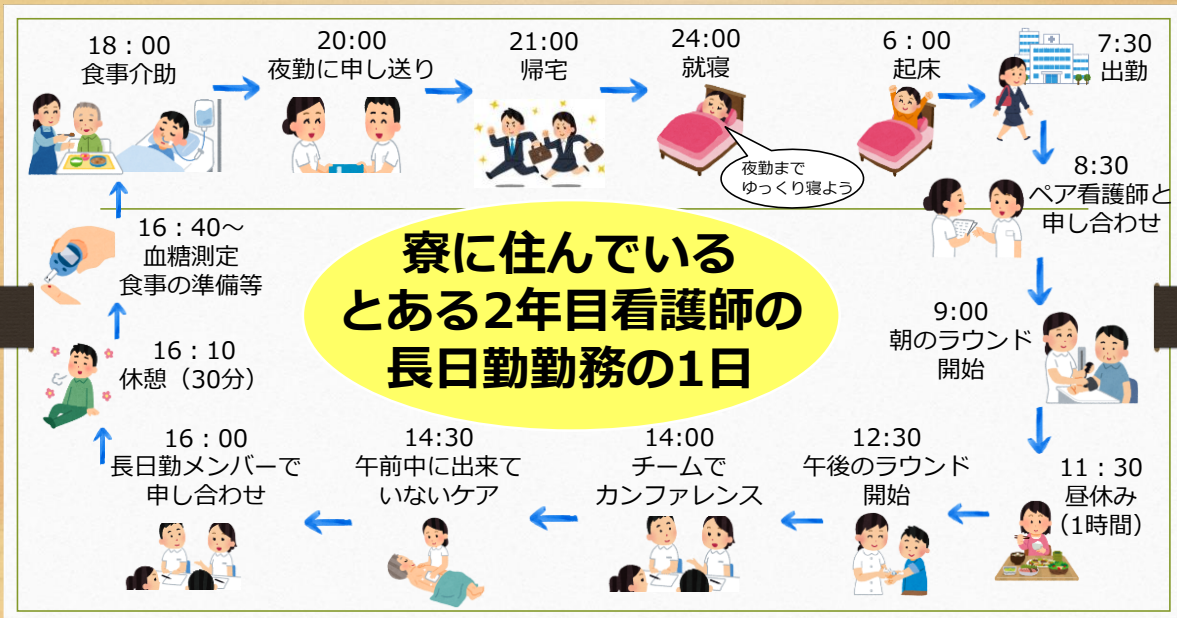
サポーター

病態からアセスメント、ケア技術まではじめはわからないことばかりでしたが、丁寧に教えてくださる先輩に助けられ、日々成長することができています。患者さんとの関わりから学ぶことが多くあり、常に向上心を持って働くことができます。

Bさん

Cさん

治療を受けている患者さんとの関わりに悩むことも多いですが、素敵な先輩方の姿を見ながら日々成長できていると感じています。



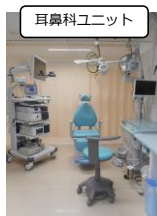
若手職員紹介

●耳鼻 のどごさん

●入職2年目、南病棟5階所属

●主な仕事内容

- ・外科的手術における術前術後の看護（手術前オリエンテーション、創部管理、ドレーン管理、疼痛などの症状緩和、早期離床に向けたケア、全身の清潔援助）
- ・放射線化学療法の看護（適切な点滴管理、化学療法副作用症状や放射線皮膚・粘膜炎のケア、疼痛緩和）
- ・嚥下機能障害のある患者の栄養管理（経管栄養管理、多職種における食事調整、嚥下訓練の支援）
- ・多職種による退院支援、吸引・吸入などの手技指導、QOLを考慮した意思決定支援



耳鼻さんのある1日

- 08:30 ● ペアNsと一緒に検温開始
- 保清潔実施、入院患者の対応
- 13:30 ● 看護カンファレンス開催
- 14:00 ● 手術患者のお迎え、処置実施
- 16:45 ● 退勤
- 17:00 ● お買い物をしつつ帰宅、炊事テレビを見ながら食事
- 19:00 ● 家事、ゆっくりお風呂タイム
- 23:00 ● 明日の仕事のために就寝

仕事をするうえで大切にしていること

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、耳・鼻・舌・咽喉頭の腫瘍やその他の疾患に対する治療を行っています。そのため術式や病態により、食べることや声を聞くこと、話すことに困難を抱えている患者さんが多いです。医師や言語聴覚士・摂食嚥下障害看護認定看護師・薬剤師など他職種と連携しながら、患者さんの個性に応じたケアを行うことを大切にしています。また、表情や行動などの言葉以外の情報からも患者さん一人一人の伝えたい思いを汲み取り、傾聴して、入院中あるいは退院後も安全な生活が送れるよう日々関わっています。

メッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、化学療法や放射線治療、手術など、内科的な治療から外科的な治療まで両方行っているため、幅広い知識を得ることができます。また痰の吸引吸引といった気管切開管理や経管栄養・胃瘻などの機会も多いため、様々な看護技術を学ぶことができます。退院に向けた患者さんに対しては、手技指導や社会資源の活用、調整など退院支援に携わる機会も多く、自宅での生活を支えるといった点で、看護師としてのやりがいを感じることができます。